中主小学校
コミュニティ・スクール

７月１２日（水）１５：００

第２回学校運営協議会

課題の解決に向けて、それぞれの立場で、考えました。学年下校については、「なぜ必要なのか、理由がはっきりわかった。わずかな時間なら協力しようという人もいる、進めていく方法として、こんなのはどうかな。」とアイデアを出し、自分のできることをやっていく方向性を出しました。「アプリは？商工会は？配送車は？自転車は？祖父母は？」など協力できそうな体制づくりを熱心に語りました。

「こんなことができた」という意見を広げることが大事だね。」とパッと見てわかる工夫など「子どもの見守り」協力について話しました。

「最近は、親の頼るところが学校だけになっている、学校にもできることには限界がある」と家庭の教育力の弱さがあげられました。「困ったとき、悩んだときに地域や周りに相談するなど昔からのつながりを大事にしたいね」という話題も出ました。

「先生・学校の負担」を減らすことで、子どもに向き合っていく時間を増やせる。「学校は 24 時間営業ではない。早く帰れるような工夫を私たちで考えて、少しでも協力しよう」と話し合いました。

トピック 01

下校体制～できる範囲で子どもを守る～

協力できる方を増やしていくにはどうすればいいかを協議しました。多くの方に納得できるように説明しようと方向性を確認しました。

トピック 02

「私たちの子ども」として連携して育てていこう！

多くの人に関わってもらい、育っていくことで、子どもが信頼できる大人が増える、困ったとき相談でき、そばにいてあげられるようにしたいと確認しました。

トピック 03

学校は 24 時間営業ではない！遅い時間まで働く先生の負担を減らそう！

体調を崩したり、疲れがでている先生が心配。子どものためにも、保護者にも限度と節度を考えてもらうよう呼びかける方法を考えました。